



発行 桐生山鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話(0277)311177
FAX(0277)401600

新年を迎えて「丑年」

お正月は清々しく、初詣でに参れば旧年も様々なものが身体から抜けたようで、気分もスツとあらたまる気持ちになれますね。このお正月の「あらたまる」気分は、「新しい魂になる」意味に繋がっているそうです。だからお正月は私たちにとって、「再生」の節目となる訳です。



初詣はぜひ菩提寺で!! 除夜の鐘で今年の厄払い

除夜の鐘

十二月三十一日は毎年恒例の「除夜の鐘」を行います。撞き始めは十一時三十分頃。古いお札や縁起物は、境内にてお炊き上げをいたします。本堂では甘酒や温かい珈琲の接待のほか、新春

祈禱、破魔矢などの頒布をおこなっています。元旦0時からは本堂にて本年の厄を消除する今年最初のご祈禱であります「元朝大祈禱(がんちようだいしんねい)」を行います。お誘い合わせのうえ、ぜひご参詣ください。

祠堂新築工事 経過報告

平成十九年四月末日より建築を進めておりました祠堂は、お陰様で昨年



新春祈禱

元旦より五日まで新春祈禱を行っています。時間は、朝九時〜午後四時頃まで。一時間間隔で随時申し込みができます。新年を迎える事が出来た感謝と、新たな希望の成就を願って参加してください。尚、一月四日朝九時からの祈禱は大祭です。

また、電話やFAX、インターネットによる事前申し込みもできます。来山出来ない方はお札の郵送もいたします。鳳仙寺ホームページ <http://www.hosenji.or.jp/>

落慶法要は四月二十九日

八月頃に建物が完成いたしました。その後、総代・世話人さんにお手伝いをいただき位牌をあいいうえお順に並べ内部も大形の形が整ってきました。

現在は周囲の植栽や石畳などの工事に取掛かっております。

皆様のご協力により建立いたしました祠堂の落慶法要は、平成二十一年四月二十九日に行う予定です。



決まりました。落慶法要の詳しい内容は後日お知らせいたします。

平成21年度 厄年表		
前厄	本厄	後厄
男		
60歳 昭和25年生	61歳 昭和24年生	62歳 昭和23年生
41歳 昭和44年生	42歳 昭和43年生	43歳 昭和42年生
24歳 昭和61年生	25歳 昭和60年生	26歳 昭和59年生
女		
36歳 昭和49年生	37歳 昭和48年生	38歳 昭和47年生
32歳 昭和53年生	33歳 昭和52年生	34歳 昭和51年生
18歳 平成4年生	19歳 平成3年生	20歳 平成2年生

尚、この表は満年齢に一歳を加えた数え年です。



位牌堂へ先祖位牌を置きませんか?

只今、追加で先祖位牌の申込を受け付けています。

申込者には、先祖代々位牌を八万円にて、作成し新築の位牌堂に永代にわたりお祀り致します。

申込を頂けるようでしたら郵便振替で送金をお願い致します。宜しくお願致します。

振込用紙又はFAXにて下記位牌申込書式に基づいて記入しお送り下さい。位牌中央名前「**家先祖代々精霊位施主**」

位牌申込の方法

銀行振込・郵便振替にてお願致します。

銀行口座
桐生信用金庫梅田支店
普通 0104616
鳳仙寺寄付
郵便振替
05200-01322606
鳳仙寺

坐禅と朝粥の会

当寺では、毎月一日・朝七時より八時まで「坐禅と朝粥の会」を行っています。どなたでも予約なしで自由に参加できます。

正 賀

- | | |
|-----|--------|
| 住職 | 坪井 良廣 |
| 副住職 | 坪井 良樹 |
| 総代 | 石原 竹雄 |
| | 太田 亨文 |
| | 池田 伊佐男 |
| | 峯崎 一男 |
| | 田島 輝雄 |

- 世話人
- | | | |
|--------|-------|-----------|
| 東 洋一 | 金丸由太郎 | 館 盛治 |
| 天笠勝美 | 金子 清谷 | 啓 |
| 石原信子 | 金子宗吉 | 都筑啓友 |
| 板井政夫 | 木島幸雄 | 長澤吉太郎 |
| 板倉光夫 | 木島富美雄 | 長谷川孝元 |
| 岩崎岑生 | 桑子三喜男 | 羽田野百公子 |
| 岩崎親道 | 桑原金吉 | 廣神重子 |
| 内野正章 | 小林當二 | 平方佳介 |
| 梅澤守夫 | 小林満寛 | 前原高男 |
| 大里政由 | 五味田 博 | 山鹿精一 |
| 岡村栄三 | 清水義男 | 吉田長生 |
| 岡島 栄 | 下山直二郎 | |
| 小川廣夫 | 下山博康 | |
| 小此木久四郎 | 田嶋愛子 | 〔あいいうえお願〕 |

すのでご家族・ご友人などお誘い合わせの上ご気軽に参加ください。平成二十一年度は、お正月(二月一日)はお休みで二月一日からとなります。朝は肌寒いので参加される方は暖かい格好にてご参加ください。

◆坐禅会の流れ
六時五十分 坐禅の仕方(初めての方)



七時 坐禅
七時半 朝粥をいただきます
八時 解散

鳳仙寺「写経の会」

第六回写経の会開催のご案内です。鳳仙寺では年二回行っている恒例の行事です。現在、写経は「般若心経」を写佛は「釈迦如来佛」と「白衣観音様」などをお手本にしています。日常生活のある一時、写経や写佛をしてゆったりとした時間を過ごさせ

第三回 西国三十三観音霊場のご案内 ～日本三景「天橋立」と大阪・兵庫の旅～

皆様方におかれましては益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。今回は、大阪・兵庫・京都方面の巡拝です。日本三景「天橋立」も訪れます。

んか。
日 時 平成二十一年二月十四日(土) 十三時より
人 数 三十名くらい
参加費 一、〇〇〇円
 持参品/小筆(または、筆ペンでも可)・ブロンチン
 ※写経用紙(半紙)、手本、簡易硯、墨汁は用意いた

前回と同様、多数の皆様方のご参加をお待ち申し上げます。
期 日 平成二十一年四月九日(木)～十日(土) 一泊三日
旅 費 九万円(全食・観光付)
募集人員 二十名(定員になり次第締切ります)
申込方法 申込書に必要事項をご記入の上、申込金二万円を添えて二月末日までに鳳仙寺へお申込み下さい。
コースの御案内
 4月9日(木) 鳳仙寺↓【東京】7時30分発↓のぞみ↓【新大阪】10時6分着↓【第二十二番【総持寺】↓【第十四番【中山寺】↓番外宿泊/花山院宿坊
 4月10日(金) 【花山院】8時↓第二十

します。
 □スケジュール
 13時～ 受付
 13時15分～ 看経
 13時25分～ 瞑想
 14時45分～ 写経
 15時00分頃 読経
 15時00分頃 解散
 ※締め切りは二月十二日(木)まで
 五番【清水寺】↓第二十番【一乗寺】↓第二十七番【円教寺】↓中国舞鶴道↓【舞鶴】↓【天橋立温泉】17時30分
 宿泊/天橋立温泉(文珠荘)
 4月11日(土) 【天橋立温泉】8時↓第二十八番【成相寺・傘松公園・天橋立】↓【舞鶴】↓【敦賀】↓【米原】16時54分発↓ひかり↓【東京】19時10分着↓【鳳仙寺】
 ※円教寺・成相寺・松尾寺は秘仏本尊公開の予定です。
 ※詳細につきましては後日、「旅のしおり」にてご案内致します。
 ○旅行企画
 鳳仙寺
 桐生市梅田町一丁目五八
 ☎〇二七七(三三)二七七



婦人会だより

ひろげよう信んじよう
 美しい心のふれあい
 新年明けましておめでとうございます。
 婦人会会長 峯崎 由子
 副会長 石原 茂子
 副会長 坪井みはと
 書記 金居 延子
 書記 田島登志子
 会計 天笠喜代子
 会計 石原スミ子
 会計 吉池 良江
 会計 田中佳代子
 会計 田笠喜代子
 幹事 石原 茂子
 幹事 石原 信子
 幹事 梅沢フク子
 幹事 石原スミ子
 幹事 金子美美子
 幹事 金子 昌子
 幹事 下山 昌子
 幹事 金丸 和枝
 幹事 萩原 光子
 幹事 坪井みはと
 幹事 星野 敬子

副住職 良樹
 九月二十七日
 日大安・鳳仙寺の本堂に於いて、副住職の良樹師が唐木裕子さんと仏前結婚式を挙げました。
 式師には沼田市、迦葉山山主・羽仁素道老師をお迎えし厳粛に執り行われました。

副住職結婚報告



連日の雨が嘘のように晴れ、さわやかな秋晴れの中、無事結婚式を挙げる事ができました。若輩者の二人ですが、力を合わせてがんばりますので今後とも宜しくお願いいたします。
 裕子
 はじめまして。長野県伊那市から桐生市に嫁いで参りました。桐生市は長野県に比べ暖かく、寒

存在している。自分という殻にこだわらず、すべての縁を生かしてお互いを思いやり親切であたたかく、手を取り合うことの大切さを学びました。
 おいしいお昼をいただき、午後の講習会は大本山総持寺後堂盛田正孝老師による、「命を知り命を生かす」人の命は無条件で大切である「大海の一針」七十兆分の一で生まれてきた命、人が人として生まれてくるのが奇跡であり、命をいただいたことをありがたく思いこの尊い命を何のため、にどう使うかを例題を示され説明をいただきました。
 よりよき生涯を全うするために「三宝」の教えを大切に、また私たちは曹洞宗に出会い一佛両祖様の教えをいただくこの縁をありがたく、今後の婦人会活動に生かして

がりの私にとっては過ぎやすい土地です。でも風がとて強いにはビツクリしました！
 お寺での仕事は慣れないことばかりで、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、皆様の力を借りながら一つ一つ覚えていきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

平成二十一年度年回表

一周忌	平成二十年
三回忌	平成十九年
七回忌	平成十五年
十三回忌	平成九年
十七回忌	平成五年
二十三回忌	昭和六十二年
二十五回忌	昭和六十年
二十七回忌	昭和五十八年
三十三回忌	昭和五十二年
三十七回忌	昭和四十八年
四十三回忌	昭和四十二年
四十七回忌	昭和三十八年
五十回忌	昭和三十五年
百回忌	明治四十三年

日曜・祝日の御法事お申込みはお早めにお願致します。

いくことの大切さを教えていただきました。
 沢山のことを学び少し疲れてきた後のアトラクションでは鹿沼市出身、ドイツ在住のメゾソプラノ 城守香様の会場一杯に響き渡る美しい歌声に酔いしれ、楽しませていただきました。
 閉会式、端座で心を静め無事終了いたしました。当番県であられた栃木県宗務所婦人会の皆様に行き届いた企画、運営と温かなおもてなしに感謝しつつ心さわやかに帰路につきました。

鳳仙寺報平成 21 年正月号 2 カ所訂正致します。

1 面の「新年を迎えて」13 行目の

「丑を方位にあてると北東になります。」

を下記に訂正して下さい。

「丑を方位にあてると北北東〈北から東へ 30 度の方向〉になります。」

2 面の「婦人会だより」いちばん左の幹事名が

「星野敬子」を「星野歌子」に訂正して下さい。

ご迷惑をおかけいたしました。